



つなぐちゃん

社協の各事業には、
社協会費が使われています

川島地区 社協だより

川島地区社会福祉協議会 地区社協だより編集委員
第27号 発行:令和7年8月

◆工事中の川島大橋と新橋
(建設中の新橋脚)

ささえてささえられて みんなが主役の まちづくり



会長 小島豊彦

川島地区社会福祉協議会の
小島です。

各務原市社会福祉協議会の
スローガンは「ささえてささえ
られて みんなが主役のまちづ
くり」です。

日本は少子高齢化が進んで
おり、又高齢化率が約3割と
聞いております。

川島地区社会福祉協議会で
は、各務原市社会福祉協議会
のスローガンを踏まえ毎年住
民の方への福祉の一環として

「ふれあい交流事業」を実施し
ています。

又フレイル予防、地域の繋が
りを目的として「ボランティア
ハウス」を立ち上げていただ
き、様々な活動をしていただい
ております。

「近隣ケアグループ」は現在
6グループが活動し、高齢者の
方々の見守りを行っています。
住み慣れた地域で、誰もが安
心して暮らせる一助になれば
との思いで活動しています。

川島地区社協 総会 今年の事業・予算決まる

5月27日、川島ライフデザインセンター
で令和7年度の総会を開催しました。提
出議案は

- 第1号議案 役員および評議員選出
 - 第2号議案 6年度事業報告
 - 第3号議案 6年度決算報告
 - 第4号議案 7年度事業計画案
 - 第5号議案 7年度予算案
- で、全議案可決されました。
今年度の事業は例年と同じ「古希・一人
暮らし高齢者・介護者の集い」「配食サー

ビス」「ふれあい交流事業」のほか、今年度
より「こどもまんなかサロン」をメニユー
事業として実施します(詳細は4ページ参
照)。

また予算では収支総額261万円で昨
年度より63,000円の増となっていま
す。

総会の席で、ボランティアハウスの立ち
上げの際の参加者の年齢、活動内容など
の条件について質疑がありました。

令和7年度 川島地区社会福祉協議会 主な事業計画

月	事業	場所
6	近隣ケア研修会	川島ライフデザインセンター
8	夏休みふれあい交流事業 (こども園児・学童)	川島ライフデザインセンター
10	配食サービス (高齢者の方にお弁当を配る)	対象者家庭、 川島健康福祉センター
11	みたらし販売 (クラブサークル発表会)	川島ライフデザインセンター
12	古希、一人暮らし高齢者、介護者の集い (昭和30年度生まれの方)	川島ライフデザインセンター
8、2	機関紙発行	各家庭(川島地区全世帯)

令和7年度 役員

会長 小島豊彦

副会長 中園久義

理事 木村徹之 苅谷貴英

小島恵富 鈴木泰司

大塚直樹 川瀬敏巳

中野正勝 福手弘子

会計 脇田美千広

福祉推進員 青井徳夫 川瀬智美

監事 永田好典 田中正明

評議員 安藤順司 杉本直子

原基久 岩田かね子

小島義則 林雅則

倉知光子 鈴木芳男

野田多津子 川俣孝二

大石知恵子 野田眞澄

水野香織 小島きよ子

平野笑子 岩田喜久

苅谷マツ子 横浜勝治
(敬称略)

令和7年度 予算

単位:円	
収入の部	科目 金額
	地区交付金 430,000
	メニュー事業助成金 925,000
	地区運営費助成金 30,000
	寄付金 0
	雑収入 841
	繰越金 1,224,159
	合 計 2,610,000

単位:円	
支出の部	科目 金額
	事務費 70,000
	近隣ケア研修 27,000
	ボランティアハウス事業 360,000
	ふれあい交流事業 150,000
	機関紙発行 270,000
	赤い羽根共同募金 300,000
	食を通じた支援事業 128,000
	支え合い活動支援事業 20,000
	こどもまんなかサロン 36,000
	その他の事業(緑日) 72,000
	助成金支出 243,000
	予備費 934,000
	合 計 2,610,000

令和6年度 決算

単位:円	
収入の部	科目 金額
	地区交付金 429,000
	メニュー事業助成金 841,300
	地区運営費助成金 30,000
	寄付金 195
	雑収入 531
	繰越金 1,180,934
	合 計 2,481,960

単位:円	
支出の部	科目 金額
	事務費 62,795
	近隣ケア研修 12,210
	ボランティアハウス事業 426,000
	ふれあい交流事業 143,878
	機関紙発行 138,000
	赤い羽根共同募金 208,735
	食を通じた支援事業 79,960
	支え合い活動支援事業 0
	その他の事業(緑日等) 47,223
	助成金支出 139,000
	合 計 1,257,801

この町で毎日を自分らしく
心豊かな暮らしの為にサポートをします



近隣ケア
研修会

介護サービス・費用について学びました

6月26日、松倉・河田の近隣ケアグループ員を対象に「近隣ケア研修会」を行いました。

リバーサイド川島園包括支援センターの職員の方から、介護サービスと費用について、より知識を深めていただくために、お話をいただきました。

介護保険は介護が必要になった方が地域で安心して暮らすための制度で、費用は全体の一部を負担することで、サービスが受けられます。その為に介護認定を受けることになりますが、講師は、「認定を受けたいと思ったら、まず地域包括支援

センターへご相談ください。」と説明されました。

そして、認定には要介護や要支援があり、その違いはどのようなものか、介護認定を受けると、どんなサービスが受けられるのか、川島地区にある介護サービス事業所や介護施設の種類の（特養・老健・介護医療院・民間施設）について説明を受けました。

費用については一般的に特養が安く、概ね10～14万円。民間の有料老人ホームでは12～35万円ということでした。

それから介護サービスのお世話にならない為の予防として、「フレイル」についてもお話を頂きました。

フレイルとは・・・健康と要介護の間、弱っている状態（身体的・心理的・社会的に衰えてくること）

フレイルの段階で対応する事で介護が必要になる状態になることを防ぐことが出来ます。

まずは、自分がフレイルの状態であるかをチェックしてみましょう。少人数からフレイルチェックを受けることが出来ます。



川島のボランティアハウスの紹介②

川島地区で行われているボランティアハウスを紹介していきます

苺の会

松倉

折り紙を使ったカレンダーは個性豊かに仕上がります



開催日／毎週水曜日の午後

開催場所／松倉公民館

現在の参加者数／20人

代表者／福手弘子さん 090-3449-3238



「苺の会」は、各務原市との合併と同時に立ち上げられたボランティアハウスです。

例会はまず、「ヨガ、口腔、眼、腹筋」などのフレイル予防体操を50分ほどします。最近は肌をいつまでも若く保つために「整膚健康法」も取り入れています。これがなかなか好評のようです。その後お茶とおやつをつまんで一休み。次は、折り紙を折ってカレンダー作りをします。季節にあった花や動物などの折り紙で、3週目に色紙に貼り付けます。ちなみにこの取材の日は、9月の名月にちなんで兎の餅つきの様子、周囲には赤とんぼも。おしゃべりしながら、楽しそうに手を動かしていました。

代表者の体調が崩れたときには、みんなが代表者を手助けするなど、和気あいあいと活動しています。

新しく参加したい人は代表者に連絡してください。



ヨガで全身ストレッチ

新しいボランティアハウスが始まりました！…「ランラン麻雀クラブ」

7月から、松倉公民館で活動が始まりました。新ボランティアハウスは「ランラン麻雀クラブ」。月に3回の例会です。



会費は貴重な財源



本会が実施する事業は、皆さんから寄せられる会費が主な財源です。

6月から自治会を通じて会費の案内が届き、既にご協力をいただいていると思います。お寄せいただいた会費（1口500円）は一旦市社協へ入り、その後会費の40%が交付金として、またメニュー事業として行事を行った分に応じて地区社協（本会のこと）へ助成されます。

昨年の会費は川島地区全体で、合計107万2千400円でした。事業をスムーズに行っていくためにも、皆さんのご理解をお願いします。

移動販売のお知らせ

川島地区で食料品を購入する場合、昔からの八百屋さん、コンビニ以外のお店はありません。

車を持たない高齢の方や、外出が難しい人々にとって、日々のお買い物は気楽に出来るものではありません。

移動スーパーはそんな方々に気軽にお買い物を楽しんでいただける場を提供しています。

数年前から川島地区にも移動販売に来て頂いていましたが、7月より事業者が変わり、時間等が変更になりました。

- 事業者／移動スーパー「はじ丸」
- 連絡先／090-6611-6797(担当:宮川)
- 利用料／無料
- 営業品目／生鮮食料品(総菜、鮮魚、肉、野菜など)
雑貨品は事前注文。
- 場所・時間／毎週火曜日(7月1日～)
小網公民館前…10:00～10:30
松原(河田)リバーサイド川島園駐車場…10:45～11:15
渡公民館前…11:30～11:50
笠田公民館前…12:00～12:30



「こどもまんなかサロン」実施者募集

子ども達の孤立の防止や地域の中での子育てが、進むことを目的とした「こどもまんなかサロン」の実施者を募集しています。

日中子ども達だけになりやすい夏休みや冬休みなどの長期休暇期間を利用して、レクリエーションやおしゃべりなど交流の場を作っていました。

実施していただける地域住民やボランティアの方はお申込みください。

- 活動内容
レクリエーションやゲーム、折り紙や小物などの制作活動、勉強に取り組む時間やおしゃべりなど。
- 助成金
1回につき2時間の場合3000円、4時間の場合6000円。2回以上実施(上限は6回)
- サロンを担う成人のほか子供5人以上参加のこと。
- 申し込み先
地区社協を通して市社協へ
申請書は市社協ホームページから取り出してください。